

## 学習のねらい

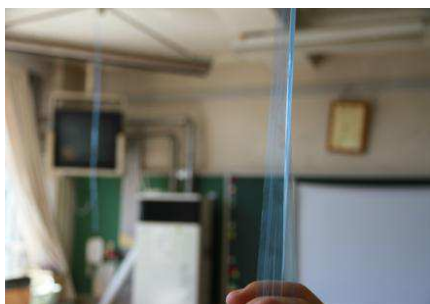
- ・建物方位や扉・窓の配置、通風行為によって風を通せることを校舎で体感し、自然を利用した快適な暮らしについて考える。
- ・風という自然現象を理解しながら、学校や家庭での通風行動(冷房の負担を軽減する、新鮮空気に入れ替える)の大切さに気づき、身近な環境行動につなげる。

## 関連単元

- 1) 家庭科:5・6年生「暑い季節を快適に」
- 2) 理科5年生:「天気の様子、気温の測定」

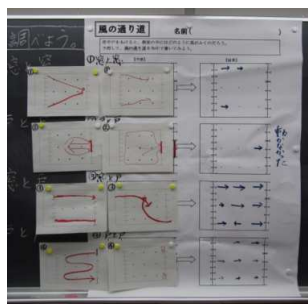
## 活動内容

### ① 導入



- ・ビニール紐で風をみつけます。
- ・暑い中エアコンをあまり使わず、気持ちよく過ごす方法について考えてから授業はスタートします。

### ② 窓・扉の開け方と風の流れ方の予測・実験(通風実験)



- ・教室の窓や扉、どれを開けると風が通るかを予想します。教室の中の風の通り道を描いて予想したこともあります。
- ・実験前は、窓だけたくさん開けると風が通ると思っている児童が沢山います。窓と扉を両方開けるとビニール紐がゆらりと大きく揺れ始め、子ども達から驚嘆の声があがります。

### ③ 風向・風速計づくり



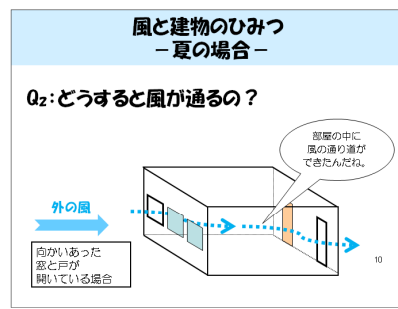
- ・牛乳魚(風向・風速計)を作って、校舎周りの風の道を見つけます。地元の建築士の方と大学生がサポートする場合があります。

### ④ 風の道マップづくり(外部風の観測)



- ・校舎わきの小径に並べた牛乳魚は皆、風上に向かって泳いでいるので風向が分ります。みんなの観測した結果をマップにまとめて、校舎周りの風の道マップが完成します。

### ⑤ 種明かし



- ・風の流れや通風の仕組みを解説して、自宅でも応用できないか考えます。